

宮内庁契約監視委員会 第29回会議

開催日及び場所	令和4年7月21日(木) 宮内庁第一会議室
委員	委員長 岸上恵子 (公認会計士) 委員 藤寄健一 (元会計検査院第5局長) 委員 柴垣明彦 (弁護士)
議事	1. 抽出事案について ① 令和3年度下半期 契約金額及び件数に関する統計 ② 柴垣抽出委員より抽出結果報告 ③ 抽出事案概要説明(各担当課長) ④ 抽出事案審議等 2. 宮内庁調達改善計画について

1. 抽出事案について

審議対象期間	令和3年10月1日～令和4年3月31日	
抽出事案	7	
一般競争入札	6	<p>契約件名： 高倉天皇陵斜面地崩落箇所復旧工事に伴う詳細設計業務</p> <p>契約相手方： 株式会社 エイコー技術コンサルタント</p> <p>契約金額： 1,001,000円</p> <p>契約締結日： 令和3年12月20日</p> <hr/> <p>契約件名： 新型コロナウイルスPCR検査試薬ほか一式の購入</p> <p>契約相手方： 東邦薬品 株式会社 東京営業部</p> <p>契約金額： 3,124,935円</p> <p>契約締結日： 令和4年3月7日</p> <hr/> <p>契約件名： 那須御用邸附属林管理計画に伴う基礎調査業務</p> <p>契約相手方： 株式会社 虹設計事務所</p> <p>契約金額： 2,277,000円</p> <p>契約締結日： 令和4年1月31日</p> <hr/> <p>契約件名： 納曾利装束の製造</p> <p>契約相手方： 株式会社 大槻装束店</p> <p>契約金額： 11,253,000円</p> <p>契約締結日： 令和3年11月2日</p> <hr/> <p>契約件名： オンライン行事運営支援業務委託</p> <p>契約相手方： 株式会社 ムラヤマ</p> <p>契約金額： 4,000,040円</p> <p>契約締結日： 令和3年12月14日</p> <hr/> <p>契約件名： カラー複合機賃貸借、カラー複合機保守</p> <p>契約相手方： 富士フイルムビジネスソリューションジャパン 株式会社</p> <p>契約金額： 賃貸借25,608,000円 保守1,031,225円</p> <p>契約締結日： 令和3年12月10日</p>
最低価格落札方式	6	
随意契約	1	
特命随意契約型方式	1	<p>契約件名： インターネット接続ファイアウォールのOSバージョンアップ作業</p> <p>契約相手方： エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ 株式会社</p> <p>契約金額： 5,307,500円</p> <p>契約締結日： 令和3年10月22日</p>

委員からの意見・質問等	○ 詳細は別紙のとおり。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	○ 特になし。

2. 宮内庁調達改善計画について

委員からの意見等	○ 特になし。
意見等に対する回答	○ 特になし。

- 次回の契約監視委員会は、令和5年1月頃に開催予定とされた。

1. 一般競争入札の抽出案件 ①

(1) 高倉天皇陵斜面地崩落箇所復旧工事に伴う詳細設計業務（最低価格落札方式）

※低落札率となった案件

【契約の概要】

本業務は、高倉天皇陵斜面地崩落箇所復旧工事に必要な詳細設計を行うものである。

意見・質問

回答

・ 落札率が低い理由は何か。

・ 落札業者が、当時受注している業務が少なく、熟練の技術技師を使って少人数で業務遂行可能であり、諸経費等の部分で極力抑えるなど企業努力、受注意欲の高さによるものと推察する。

・ 予定価格の算定が適切だったか。

・ 予定価格の算定にあたっては、国土交通省の積算基準等を参考にしており、入札額2番手以降の金額を見れば、適正は確保されていると考える。

1. 一般競争入札の抽出案件 ②

(2) 新型コロナウイルスPCR検査試薬ほか一式の購入（最低価格落札方式）

※応札者が2者の案件

【契約の概要】

宮内庁病院において、新型コロナウイルスのPCR検査を行うため試薬ほかを購入するものである。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札者が2者しかいない理由は何か。 ・ なるべく広く声掛けを行うなど、応札者を増やすことで競争性がより働くようにすべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初下見積りの徴取を3者から受けていたが、うち1者が調達品目数量の入手困難と判明し、入札までの期限も迫っており、他業者に声掛けするなどができず、結果的に2者の応札となった。 ・ 応札参加業者を探すなど、応札者を増やす努力はしていきたい。

1. 一般競争入札の抽出案件 ③

(3) 那須御用邸附属林管理計画に伴う基礎調査業務（最低価格落札方式）

【契約の概要】

本業務は、那須御用邸附属林管理計画に伴い、基礎調査を行うものである。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・落札者と2番手の入札額が大きく開きがある理由は何か。 ・応札希望業者に、調査内容を正確に伝えるのは発注者側の責任の範囲内であり、入札件名の工夫、入札公告、入札説明書への記載などで調査内容を分かりやすく提示すべきであるのではないか。 ・当該調査は降雪の時期に実施しなければならないのか。秋に笹以外の植物が枯れたところが実施には良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・笹類に限定した分布調査であるところ、2番手の入札額は、植物全体を対象とした植物相調査として計上された可能性が考えられる。そのほか、現地の受注実績がなく現地状況を把握していないことによる植生調査の積算金額が増大した可能性、宿泊を伴う現地作業期間を長めに計上したことによる植生調査の積算金額が増大した可能性が考えられる。 ・入札公告、入札説明書には業務内容や業務目的を記載する欄があるので、今後は分かりやすい記載にしていきたいと考えている。また、入札件名は工夫していきたい。 ・必ずしも冬期である必要性はないが、笹以外の植物が旺盛な生育時期だと笹が見つけにくい部分があるので、時期を遅らせ気味にしたが、結果として雪が多い時期になってしまったことは反省し、今後の調査時期は検討していきたい。

1. 一般競争入札の抽出案件 ④

(4) 納曾利装束の製造（最低価格落札方式）

※落札率が99%超の案件

【契約の概要】

本業務は、雅楽演奏の際に着装する装束の製造である。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高落札率となった理由は何か。 ・ 更新のため廃棄する装束を普及広報に使用する方策として、例えば展示したり、記念写真用としたりなど、また別の視点として装束製造の職人向けの教材として技術の継承で再利用するなど、廃棄する装束の新たな活用を検討すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件の予定価格は、複数事業者から見積を徴取して市場価格調査を行い、一番安価な見積額を査定の上、算出しているため、高落札率になったと考える。 ・ 現在使用している装束のうち、使用状況によっては展示することが可能なものもあるが、廃棄する装束については、かなり使い込んで経年劣化の部分もあるので、展示や記念写真用などでの活用には適さないと考えている。

1. 一般競争入札の抽出案件 ⑤

(5) オンライン行事運営支援業務委託（最低価格落札方式）

※応札者が1者の案件

【契約の概要】

講書始の儀及び歌会始の儀において、オンラインで実施するための運営支援を業務委託するものである。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札となった理由は何か。 ・ 制限の強い入札は随意契約と同じことになりかねず、過度な制限ではなかったのか検討し、今後は、宮内庁の工事等実績や、国の工事等の実績、美術館や特殊な建物の工事等の実績、貴重な文化財での実績など応札条件を少し緩めることを検討すべきであると考え。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮殿という特殊性の高い建物の中での作業であり、器物損壊等の最悪の事態を想定しうることから多少なりとも宮殿内の構造、特殊性を把握している業者に依頼する必要がある、競争参加資格に下請け孫請け等を問わず、過去に宮殿に関する工事、請負、その他役務等の受注・提供実績を求めたところ、結果として1者のみの応札となった。 ・ 宮殿に絞らずに、過去に宮内庁の施工実績等がある業者に範囲を広げるなど検討していきたい。

1. 一般競争入札の抽出案件 ⑥

(6) カラー複合機賃貸借、カラー複合機保守（最低価格落札方式）

※応札者が2者の案件

【契約の概要】

カラー複合機の賃貸借を行うものである。

カラー複合機の保守を行うものである。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札者が2者しかいない理由は何か。 ・ 政府全体としての調達時期の調整などについて、他省庁との情報交換を行うようなことは行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札資料の受領は10者以上あったところ、半導体不足の市況の影響があり、仕様に合うものを納入できない可能性があったと推察するが、結果として2者しか応札がなかった。 ・ 横の情報交換を行い、可能な範囲での調整を行うことについては今後検討していきたい。ただ、現契約の契約期間もあり、次の契約の始期を調整するのは難しい面もあるので、今後の検討課題として受け止めさせていただきたい。

2. 随意契約の抽出案件 ①

(7) インターネット接続ファイアウォールのOSバージョンアップ作業
(特命随意契約型方式)

【契約の概要】

本業務は、インターネット接続ファイアウォールのOSのバージョンが2022年3月31日までにEOL(End of Life)を迎えることから、アップグレード作業を行うものである。

意見・質問	回 答
・ベンダーロックインになっていることはないか。	・当該業務は、ファイアウォールシステム全体を更新するわけではなく、ファイアウォールシステムを動かすためのOSのバージョンアップをするものである。平成29年度のシステムの調達の際に一定の競争性が確保されていたこと、今後ファイアウォールを更新する際には他社製のウォールでも問題ないと考えていることを勘案し、当該業務はベンダーロックインに陥っていることはないと考える。